

海賊対処の第21次派遣部隊が無事任務を終え帰港する

～ 派遣海賊対処行動水上部隊（第21次隊）帰国行事の様 ～

ソマリア沖・アデン湾における海賊対処のための第21次派遣水上部隊が、本年3月18日に日本を発って以来、約6か月ぶりとなる2015年8月30日に横須賀基地（神奈川県）へ帰港した。

同部隊は、第1護衛隊司令（中筋篤1等海佐）の指揮の下、護衛艦「むらさめ」（藤井健志艦長）および同「いかづち」（外園和治艦長）の両艦で、乗員約400名（海上保安官8名同乗）により編成され、アデン湾にて24回に及ぶ護衛活動を実施した。

帰国行事では、石川博崇防衛大臣政務官、及び重岡康弘自衛艦隊司令官より派遣隊員への訓示などが述べられた。

当協会からは、小田副会長、（株）商船三井 根本専務執行役員、川崎汽船（株）門野専務執行役員、日本郵船（株）後藤湖舟経営委員他が出席し、派遣部隊の指揮官らにお礼を申し上げるなど、護衛艦乗員の方々のご苦勞に対しあらためて感謝の意を表した。

（海務部 小山）

横須賀帰国行事



入港する護衛艦「いかづち」



入港する護衛艦「むらさめ」



栄誉礼を受ける石川防衛大臣政務官



派遣隊員に訓示を行う石川防衛大臣政務官



派遣隊員に訓示を行う重岡自衛艦隊司令官



当協会を代表して隊員の方々に対し感謝の意を
申し述べる小田副会長



派遣部隊を横断幕と共に出迎える当協会関係者